# **研究開発体制説明書**

**【様式５】**

|  |
| --- |
| **研究開発課題名：** |

**１　研究開発の分担体制及び主要研究設備**

本研究開発を実施するための体制や設備を記入してください。

研究設備については、様式４（予算計画書）に計上する研究設備（購入設備及びリース）、様式４（予算計画書）に記載しない自費などで調達する研究設備（自費調達設備（リースを含む。））、既存設備等の別に記載してください。

自費調達設備（リースを含む。）及び既存設備については、担当機関名を明記してください。また、様式４（予算計画書）に計上しない人件費（人件費×エフォート率）及び設備備品費の各機関の負担額合計と総計を明記してください。

なお、研究代表者、研究分担者のいずれも所属しない機関の研究補助者や研究設備は含まないでください。

（記入例）

研究代表者：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授）

①○○に関する研究

担当：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授）

霞が関　花子（株式会社＊＊研究開発部主任）

研究補助者（××大学○○名）

主な研究機器：○○○○（リース）

○○○○（購入設備）

○○○○（自費調達設備） 株式会社＊＊

○○○○（既存設備） ××大学

②××に関する研究

担当：通信　一郎（＋＋株式会社企画部部長）

虎ノ門　次郎（××大学大学院工学研究科助手）

研究補助者（××大学○○名）

主な研究機器：○××○（購入設備）

○××○（リース）

○××○（既存設備） ＋＋株式会社

 負担額 ××大学 230万円

 株式会社＊＊ 450万円

 ＋＋株式会社 100万円

 総計 780万円

**２　連携研究者に係る情報**

本研究開発において、共同研究等により連携研究者が研究開発に協力する場合は、当該連携研究者に係る情報を記載してください。なお、連携研究者は持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業による委託費を使用することはできません。詳しくは提案要領を御参照ください。

（記入例）

①△△に関する研究

総務　二郎（××大学大学院工学研究科教授）

虎ノ門　花子（株式会社＊＊研究開発部主任）

②※※に関する研究

通信　二郎（＋＋株式会社企画部部長）

虎ノ門　一郎（××大学大学院工学研究科助手）

**３　その他**

研究開発体制を説明する上で参考となる情報（例：「日本学術振興会 博士課程リーディングプログラムに採択されている。」、「文部科学省 地（知）の拠点整備事業に選定されている。」等）があれば記入してください。

# **研究開発実施者経歴説明書**

**【様式６】**

本資料は**研究実施者ごとに作成**してください。

|  |
| --- |
| **研究開発課題名：** |

１　氏名（フリガナ） ○○　○○　（　　　　）

２　年齢 令和６年４月１日現在　　歳

３　性別 男・女

４　所属研究機関 ○○大学大学院

５　所属部署名 ○○学研究科　○○専攻　○○室

６　所属研究機関所在地 〒　-　　○○県○○市○○

７　役職名 ○○

上記所属研究機関以外に兼職・兼業する機関及び役職がある場合、所属機関名（法人である場合はその旨を明記）、役職も記載してください。

８　学位等 博士（工学）　（○○大学、○○専攻、○○年取得）

 無線従事者資格（第○級○○無線技士）等

９　エフォート（令和６年度）

※年間の総仕事時間に対する本研究開発に従事する時間の割合（%）として計算してください。

※本欄には最新のエフォートを記入してください。本欄の記述とe-Radの【応募・受入状況】への登録情報に齟齬がある場合は本欄の記述が優先されます。

①持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業　　○○％

提案する研究課題についてのエフォートを記載してください。

研究分担者として複数の研究開発課題に携わる場合には、それぞれの課題について課題名とエフォートを記載してください。

②他の競争的研究費による研究開発　　　　　　　　　　　　○○％（計）

支援を受けている全ての競争的研究費及び現在応募しようとしている競争的研究費について、配分機関名、制度名・区分、研究開発課題名、研究期間、助成金額、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート(％)を明記してください。現在応募しようとしている競争的研究費については、「研究期間」の部分を「申請中」又は「申請予定」と記載してください。支援を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる記載があった場合、採択後であっても採択を取り消す場合があります。

（記載例1）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、令和○○年～令和○○年、##円

当該研究は○○に関するものであり、持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業における研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。○○％

（記載例2）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、申請中、##円

当該研究は○○に関するものであり、持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業における研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。○○％

③他の外部資金による研究開発　　　　　　　　　　　　　　○○％（計）

1000万円以上の資金の助成のもの及び現在応募しようとしている外部資金について、制度名、研究開発課題名、研究期間、助成金額（期間中の総額）、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート(％)を明記してください。現在応募しようとしている外部資金については、「研究期間」の部分を「申請中」又は「申請予定」と記載してください。助成を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる記載があった場合、採択後であっても採択を取り消す場合があります。

（記載例1）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、令和○○年～令和○○年、##円

当該研究は○○に関するものであり、持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業における研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○％

（記載例2）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、申請中、##円

当該研究は○○に関するものであり、持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業における研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○％

④経常的研究開発　　研究内容を記載してください。　　　　　　　　　　　○○％

⑤経常業務　　　　　業務内容を記載してください。　　　　　　　　　　　○○％

１０　研究者個人に関する研究キーワード

専門分野のキーワードを可能な限り電子情報通信学会の「専門分野分類表※1」の中から五つ選んで記載してください。

※1　 https://www.ieice.org/jpn/shiori/pdf/furoku\_f.pdf

１１　研究者経歴

以下の記載例にしたがって記載してください。

（記載例）

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学○○学部○○学科卒業

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学大学院○○学研究科○○専攻修士課程修了

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学大学院○○学研究科○○専攻博士課程修了

\*\*\*\*年 \*\*月　 博士号取得（○○学博士○○専攻）

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○○○株式会社　○○研究所

○○に関する研究開発に従事

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○○○株式会社　○○研究所　○○研究室　主任研究員

○○に関する研究開発に従事

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学大学院○○学研究科　教授

○○に関する研究開発に従事

１２　研究開発課題に関連する主要な発表論文・著書・特許等

主なものを10件程度記入してください。論文の場合、著者名、“タイトル”、雑誌名、巻、号、ページ、発表年（西暦）を記載してください。著書、特許も左記に準じます。

１３　受賞歴等

過去に実施した研究開発の成果が評価され、受賞経験がある場合（ノミネートを含む）には、受賞年月（西暦）、受賞名称（競争的研究費等を活用した場合にはその制度等及び賞の名称）を、学会等で発表した論文等での受賞経験がある場合には、学会名及び賞の名称並びに受賞した論文名を記載してください。

（記載例1）

2021年２月　戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）奨励賞 △△に関する研究開発

（記載例2）

2019年11月　電子情報通信学会通信ソサイエティ論文賞　ミリ波有効利用のための◇◇技術

# **既存研究設備等説明書**

**【様式７】**

|  |
| --- |
| **研究開発課題名：** |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様・購入（予定）年度 | 金額 | 使用目的 | 所有機関 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：購入（予定）年度： | 単価　○○円数量　　□個金額\*\*,\*\*\*円 |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

◎注意事項

・本研究開発で使用する主要な**既存研究設備**や**自費調達設備**の名称・メーカ・形番、性能・仕様・購入（予定）年度、購入金額（税込）、当該研究における使用目的、所有機関について記載してください。

・研究開発内容説明書（様式2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

# **物品リース・レンタル計画書**

**【様式８】**

|  |
| --- |
| **研究開発課題名：** |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様・期間 | 金　額 | 使用目的 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：期間：（○か月間などと記載） | 単価○○円／月［XX年度］○○円（○か月）［XX年度］○○円（○か月） |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

◎注意事項

・研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定に当たっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。**本研究開発以外での利用はできません。**

・リース又はレンタルする設備の単価は、リース又はレンタル会社にて調査願います。

・本様式の「使用目的」については、研究開発内容説明書（様式2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

**物品購入計画書**

**【様式９】**

|  |
| --- |
| **研究開発課題名：** |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様購入年度 | 金　額 | 使用目的 | リース又はレンタルが不可の理由 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：購入年度： | 単価　○○円数量　　□個金額\*\*,\*\*\*円 |  | 【理由】○○によりリース（レンタル）困難とのリース（レンタル）会社からの回答があったため。 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

◎注意事項

・研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定に当たっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。本事業の研究費は「委託費」であるため、購入した物品は研究開発期間終了後に総務省所有の物品となります**。**原則として本研究開発以外での利用はできません。ただし、「競争的研究費における各種事務手続き等に係る統一ルールについて」（令和３年３月５日）[[1]](#footnote-1) に基づいて「設備等一時使用報告書」を提出した場合はこの限りではありません。

・リース･レンタルと調達経費を比較せずに購入する場合は、リース又はレンタル不可の理由を必ず記載してください。なお、採択後の課題実施における経理処理手続では、リース又はレンタル不可の証明書を準備していただくことになります。

・本様式の「使用目的」については、研究開発内容説明書（様式2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

**【様式10】**

|  |
| --- |
| **研究開発課題名：** |

# **研究活動に係る透明性確保に関する誓約書**

|  |
| --- |
| 令和　年　　月　　日総務省○○○総合通信局長　殿持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業における今般の公募に対して、下記のとおり、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、所属する研究機関に報告していることを誓約します。記１　他府省を含む他の競争的研究費その他の研究費の応募・受入状況（制度名、研究課題、実施期間、予算額、エフォート等）２　現在の全ての所属機関・役職（兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）３　寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援（無償で研究施設・設備・機器等の物品の提供や役務提供を受ける場合を含む。）４　その他以上研究者氏名（自署）：　　　　　　　　　　　　　 |

◎注意事項

・各研究者が内容を確認の上、それぞれ誓約を行うこと。

・研究者の押印は不要。ただし、自署は必須とする。

1. 内閣府Webページ　https://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/toitsu\_rule\_r30305.pdf [↑](#footnote-ref-1)